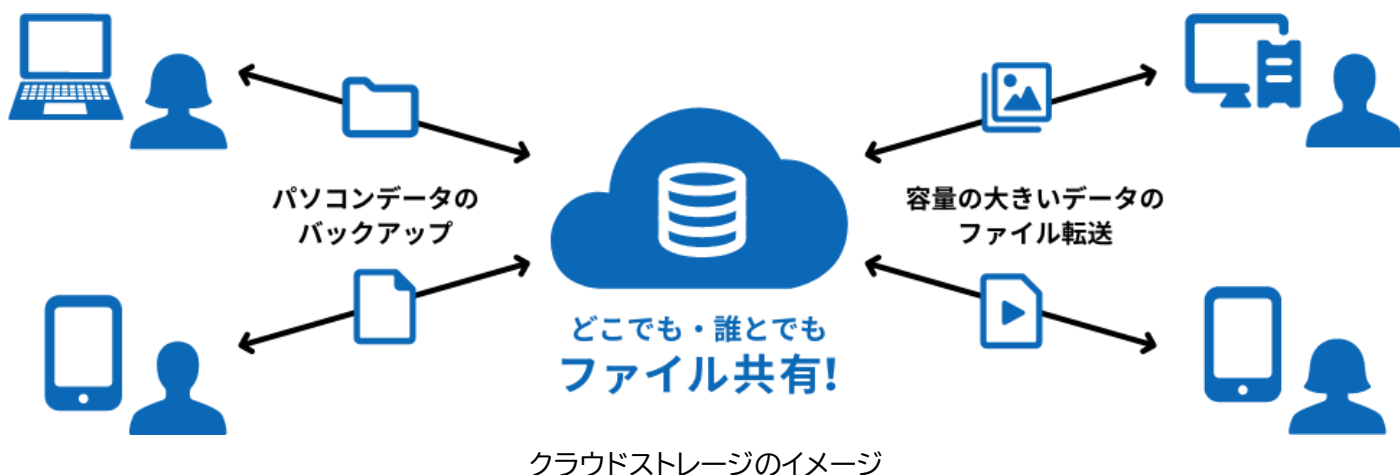


デルタ 予約表・電子カルテシステムの説明書

デルタでは予約表・電子カルテの一部を電子化しています。ここではシステムの概要を説明します。

「クラウド」とは

デルタではデータをインターネット上に保管しています。個々の端末にファイルを保存するのではなく、ネット上のファイルを、**編集や閲覧するときだけ**端末にダウンロードして利用します。



クラウドを使う最大メリットは、ネット上にファイルが保管されているため、ネットに繋がっている、スマホや PC があればだれでも参照可能ということです。また、編集やファイルの複製が可能などのメリットがあります。

デメリットは、ネットの環境に依存してしまうことです。

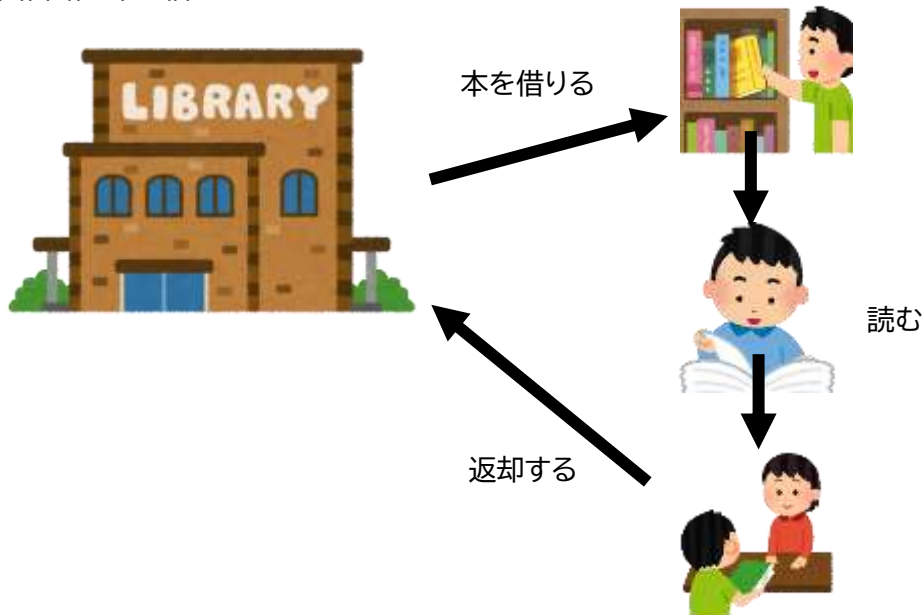
ネットが繋がらない場所では閲覧することができない、通信が不安定だと競合ファイルができてしまうなど。

電子ファイル利用上の注意「元ファイルはあくまでクラウド上にあることを理解する」

クラウドを使い慣れていない人は、つい端末にファイルがあると思ってしまいますが、電子カルテを利用する際には、**今編集しているファイルはあくまで一時的に借りているもので、編集したら返さなければならない**、ということ理解してください。

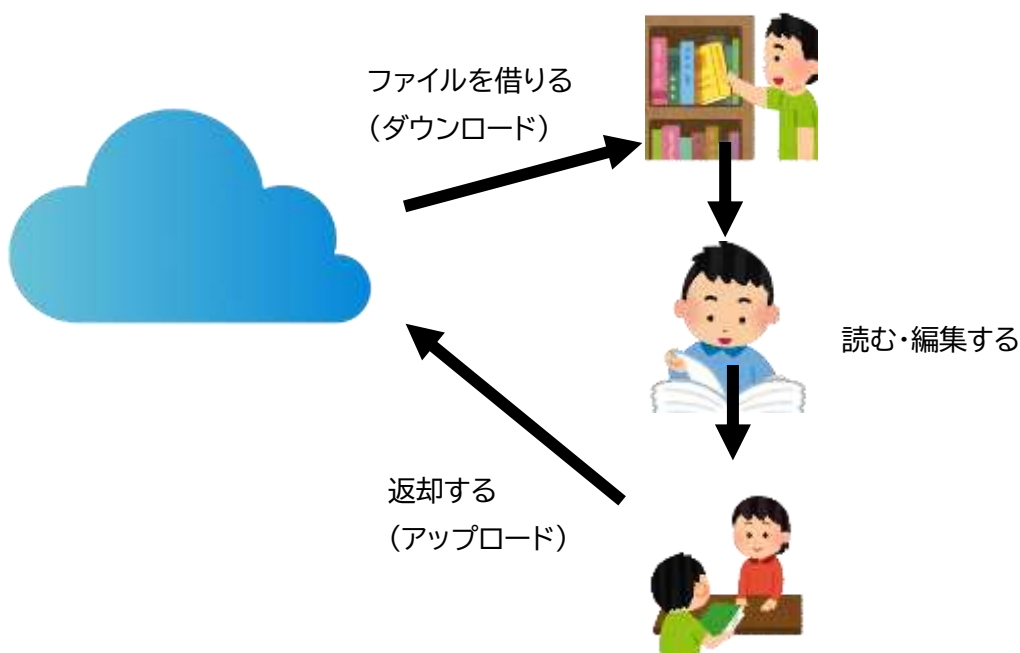
クラウドのイメージとして近いのは図書館です。私たちが図書館で本を借りる際は、図書館にある在庫を調べてそれを借ります。そして閲覧したら図書館に返却します。

図書館で本を借りるイメージ



クラウドのファイルは図書館にある本と同じです。これを見るためには私たちはクラウドからファイルを借ります(ダウンロード)。そして閲覧・編集(図書館の本は編集はしません)したのちに、クラウド上にファイルを返却します(アップロード)。

クラウド利用のイメージ



これを踏まえてクラウドを利用する際は、いくつか注意点があります

①編集したファイルがしっかり返却できているか確認する

・閲覧・編集を終えたらただちにファイルを閉じる(これがクラウド上にファイルを返却する動作にあたる)

→閉じた際にファイルがアップロードされているのを確認する

もしアップロードされていない場合は、端末を再起動する



②閲覧・編集しようとするファイルが最新の状態にあるか確認する

→もしいくつかのファイルがダウンロード状態にあれば、しばらく待っていれば使えるようになる

→どのファイルもダウンロードされていない場合は端末を再起動する



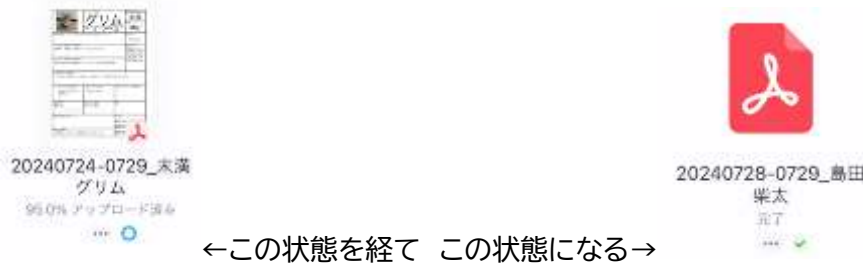
クラウドファイル利用のコツ

①作業後は必ずファイルを閉じる

→前述したように PDF Expert ではファイルを閉じることが、クラウド上にファイルを返却する動作にあたります。もし開きっぱなしに(借りっぱなしに)したまま、他の人が編集してしまうと「競合ファイル」ができてしまい競合内容確認の作業工数が増えてしまいます。

②ファイルを閉じた後に編集データがアップロードされていることを確認する

→正常なら数秒でアップロードは完了する。もし保留状態なら端末を再起動する



③PDF Expert のホーム画面を開いておく

→クラウド上の編集データは PDF Expert のアプリのホーム画面を開いておかないと更新されません。朝出勤した時や、端末を充電しているときは常に PDF Expert のホーム画面を開いておくと、常時内容が更新されるので、すぐに使える状態になる。

電子化についての一言

電子ファイルはこれまで紙媒体の利用が主だった人にとっては使いづらいものであり、また電子ファイルにもデメリットがあることは理解しています。ただ、現状ではデメリットよりもメリットが多いと考えていますし、今後のデルタの方向性を考えたときに電子化は絶対に必要な取り組みです。

より安定して使えるような取り組みは今後も続けていきますので、しばらくはこの説明書のような個々人の使い方の工夫で不具合が起こらないように利用できればと思っています。

メリットデメリット	メリット	デメリット
紙媒体	多くの人が使い慣れている	現物がなければ閲覧編集ができない 紙・ペンを消費する(ゴミが増える) プリンターを使わなければならない 保管に場所を取る 検索性が低い
電子	端末とネット環境があればどこからでも 閲覧・編集ができる ゴミ・インクを削減できる 保管に場所を取らない 情報のコピペができる 情報の検索性が高い	使い慣れていないスタッフがいる ペット業向けの製品がない(自作のシステムを使わなければならない)